

球磨病院が担う役割について

平成30年12月 球磨病院

1.現状と課題

【当院の現状】

- 当院の理念 「愛する人を安心して任せられる病院の創造」
- 基本方針
 - 1.患者様中心の医療の提供
 - 2.患者様へのサービスの向上
 - 3.救急医療の充実、医療水準の維持、向上
 - 4.予防医療の展開
 - 5.医療安全の確保
 - 6.地域連携の強化
 - 7.経営の健全化
- 届出入院基本料

入院基本料	病床数	平均在院日数
急性期一般入院料5	34床	17日
療養病棟入院料1	45床	
地域包括ケア病棟入院料2	45床	
障害者施設等入院料13:1	30床	
合計	154床	

- 職員数228名(常勤医師:10名、非常勤医師:6名、看護師:41名、准看護師:45名、看護助手:36名、その他専門職:36名、事務職員等:54名)

●当院の特徴①

当院は、二次救急指定病院として救急患者の受入に取り組んでいます。

脳神経外科、整形外科や糖尿病専門医が常勤し、広範囲に亘る治療を提供しています。

糖尿病に関しては、人吉・球磨地域の各医療機関と当院との病病・診連携を通して、糖尿病患者のより良い管理を行なっています。

さらに当院では、糖尿病専門医とコメディカルスタッフが中心となり、人吉・球磨地域のコメディカルスタッフを対象にした「熊本県糖尿病療養指導士」のための年4回の研修及び認定試験を行ない、合格したコメディカルスタッフが各医療機関で患者の糖尿病管理上重要な生活改善などの専門的な助言、指導を的確に推進することで、人吉・球磨地域の糖尿病予防や治療に広く深く寄与しています。

整形外科においては、脊髄脊椎外科学会の名誉指導医が治療を行なっています。人吉・球磨地域で初めて、組織的に専用機器を導入しパワーリハビリテーションを開始しました。パワーリハビリテーションでは、上肢、下肢、体幹を鍛える各種機器を使用して、寝たきりや下肢筋力低下等により日常生活に障害がある方に対し、寝たきりの改善や筋力を向上させることで、再び自立した生活を目指す為の機能訓練を行ないます。当院では、「パワーリハビリテーション研修会熊本県支部」の支部長を務めている指導者的整形外科医が、パワーリハビリテーションを指導・推進しています。

●当院の特徴②

地域包括ケア病棟(45床)では、リハビリテーション治療を行ない、患者様の早期の在宅復帰を促進しています。

障害者施設等病棟(30床)では、医師・リハビリスタッフ・看護師が、患者様の在宅復帰を目指して、治療・看護に力を入れています。

病気や障害のある患者様を自宅で診るための訪問診療を定期的に行ない、治療薬の処方や療養時の相談・指導など病状悪化の防止に努めています。

また、新たに「がん患者リハビリテーション」の基準を取得しています。

がん治療や脳卒中などで人吉医療センター、熊本大学医学部附属病院、八代や熊本市の高度急性期病院などと連携しています。

各種専門学校の実習生を受け入れ、指導・教育を行なっています。

医療従事者を目指す中学生・高校生の病棟見学等の受け入れを行なっています。

【当院の課題】

●当院の担う政策医療「二次救急指定病院」

一般救急患者に加え、救急車の受入件数の増加を図り、救急患者への迅速な診察、治療を目指します。

年度	救急患者 受入件数	内、入院件数	内、時間外件数
平成27年度	132	65	72
平成28年度	119	59	66
平成29年度	159	60	86

●旧結核病床6床の稼働化(保険の付保)実現

平成24年に一般病床に種別変更を許可されたが、医療保険の付保が認められない為に現状一般稼働していない6床を、関係官公庁と協議して、早急に稼働化を実現します。

●上空通路建設

平成30年8月に許可された当院と人吉中央温泉病院を結ぶ上空通路を建設し、国道を隔てて存する両院が一体性を維持して、患者様や医療スタッフらの歩行等による横断の危険を排除して、安全・安心を確保すると共に、医療水準の向上を図ります。

2. 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

地域医療においては、今後、医療機関間の役割分担や介護等各種施設との協力がこれまで以上に必要だと考えます。各医療機関や介護施設等と、より緊密な連携を図り、適切で着実な医療サービスの提供を行なっていきます。

健診センターでの健康診断を通じて、病気の予防・早期発見や生活改善の指導など、人吉・球磨地域の健康管理に、今後もより一層携わっていきます。

また、当院が中心となって、透析治療を行なっている人吉中央温泉病院や精神科デイケア・認知症病棟を有する光生病院、球磨村診療所と連携し、蘇春堂グループとしてより有効で多角的な診療を行なっていきます。

これから2025年問題で75歳以上の高齢者が増えるということを考えますと、心臓や血管の疾患で受診される患者様も増加すると予想され、循環器科の充実が不可欠だと考えています。

現在、発達障害の子どもを中心に小児リハビリテーションを行なっており、これからも地域に少ない小児リハビリテーションに力を入れたいと考えています。

また、訪問リハビリテーションも実施しており、来院が困難な患者様などの身体機能(ADL)向上に努めていきます。

3.具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【①4機能ごとの病床のあり方】

病床機能	2018年(平成30年度)	2025年
高度急性期	0床	0床
急性期	34床	40床
回復期	45床	45床
慢性期	75床	75床
合計	154床	154床(160床)

急性期病棟は34床で、医療保険なしで一般稼働していない6床を関係官公庁と協議して、早急に急性期病床として稼働を実現し、救急患者の受入の増加を図っていきます。

回復期病棟は地域包括ケア病棟45床で、早期の在宅復帰・社会復帰を目指し、総合的な治療を行っています。

慢性期病棟は、30床の障害者施設等病棟と45床の療養病棟があり、そのうち障害者施設病棟では重度意識障害や難病患者の治療を行なっています。人吉・球磨地域で唯一、球磨病院のみが有している病棟であり、難病患者の受入先として重要だと考えます。

【②診療科の見直し】

	現時点	2025年	理由・方策
維持	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診センター	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診センター	二次救急指定病院として、上空通路完成に伴う両病院の統合を機に、地域の救急医療に貢献して参りたいと考えます。
新設	なし	循環器科(予定)	下記
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

これから2025年問題で75歳以上の高齢者が増えるということを考えますと、心臓や血管の疾患で受診される患者様も増加すると予想され、循環器科の充実が不可欠だと考えています。

(2) 数値目標

	現時点(2018年5月時点)	2025年
①病床稼働率	97.6%	98%以上
②紹介率	53.0%	
③逆紹介率	21.5%	

(3) 数値目標の達成に向けた取り組みと課題

幅広く広報活動を行い、人吉・球磨地域の各医療機関や各種施設からの紹介を積極的に受け入れるとともに、逆紹介率を高めることで双方の信頼度を上げていきます。蘇春堂グループ内の病院・診療所と連携を密にすることで、幅広いニーズに応えられるよう努め、稼働率アップにつなげていきます。

また、健診の充実により、地域住民の疾病予防や早期発見、治療に努めていきます。